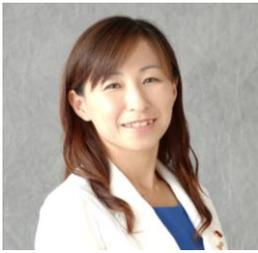


※この「わかば」はすべて自己負担にて発行しており、政務活動費は一切使用していません。

裾野市議会では、政務活動費は会派に対して交付されるもので、議員の個人活動には充当できない規則となっております。



# かも博美後援会 会報誌 わかば

## 裾野市議会議員 かも ひろみ

# 賀茂 博美

No. 32  
2018.7

発行:かも博美後援会  
裾野市伊豆島田 230-4  
TEL/FAX: 993-1876

ホームページ  
<http://www.kamo-hiromi.com/>

賀茂博美



## 6月定例会 かも 博美 の一般質問



### 美化センター施設更新は広域で！

この質問は2年前にも取り上げ、広域にて整備すべきとの意見を述べましたが、未だ方向性が示されていません。

平成37年からは新たな施設での稼働を予定しています。市単独の場合、建設工事費が約80億円、建設にも数年の時間を要するため、早期に方向性の決断をすべきです。



裾野市美化センター

Q.美化センターを広域で整備することへの考えは？

- A. 単独で事業を進めることも視野に置きながら、効率的なエネルギー回収、安定的なごみ処理、設置及び運転に係る費用等含め、財政状況等の観点からも検討調査を進めていく必要があると感じている。(環境市民部長)
- A. 広域化も含めて早期に方向性は見出すべきだと認識している。(市長)

### 将来に向けた学校施設のあり方を伺う！



裾野市の人口減少、少子化は予想以上に早く進んでおり、こどもの数も地域ごとに格差が広がっています。将来を見据えて、学校施設のあり方を真剣に検討していくべきと考えます。

- A. 学校施設のあり方、適正な規模、廃止についての議論は必要不可欠だと認識している。各地区学校の役割、教育の質を考慮しながら将来の少子化や厳しい財政状況に対応すべく学区の見直し、学校の統合、小中一貫教育などについて、総合教育会議や市民の皆さんとともに考えられるような機関を設置して早期に検討に着手したいと考えている。(市長)

平成30年6月21日 静岡新聞掲載

**学区見直しや学校統合 協議機関を設置へ**

裾野市の高村謙市 設置や教育環境のあり方例会で賀茂博美市長は20日、学区見直しを話し合う協議機関を志の会の一般質問にや学校統合、小中一貫設置する方針を明らか答えた。

教育を将来の学校施設に。市議会6月定 学校施設のあり方に

裾野市議会議長

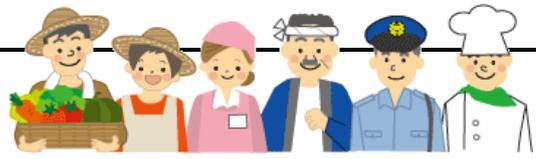
ついでに議論はこれまで、高村市長、風間忠純教育長と市教育委員で構成する総合教育会議で取り上げられている。高村市長が今回新設方針を示した協議機関は、総合教育会議と異なり、市民をメンバーに加える。



## 産業プラットフォームの設立

### がんばる産業の応援策について

(H24.6 定例会)



#### ◎ Suso-Biz (スソビズ) の開設

(平成 28 年 7 月)

Suso-Biz とは・・・

起業や中小企業、個人事業主を支援する中小企業相談事業「裾野市産業支援センター」

富士産業支援センター・f-Biz を参考とした、商工業、農業等を含めた産業分野において、起業や販路拡大、知的財産戦略の支援、相談業務等を行う”産業支援センター”の開設を提案

## 財源の確保

### 市税の徴収(滞納整理)について (H23.3/H23.12/H24.9 定例会)



#### インターネット公売の提案

市税は自主財源の柱であり、市民サービスの対価にあります。税の公平性や市民感情からも、収入未済額（期間内に収められなかった税金）、不納欠損額（時効等により回収できなかった税金）の縮減を図る必要があります。

- ◎ 平成 24 年 1 月にヤフー（株）と契約を締結
- ◎ 国税徴収法に基づき、滞納者から差し押さえた財産の公売を、ヤフー（株）が提供するインターネット公売システムにて実施。公売で得た代金は、滞納となっている市税などに充当。

### 小型家電リサイクルの取り組み

(H25. 12 定例会)

“都市鉱山”と言われる小型家電。資源のリサイクル、売却収益確保に向け、リサイクルボックスの設置を提案

- ◎ 平成 27 年 2 月より、公共施設 6 箇所に回収ボックスが設置され、回収事業が開始

現在は、2020 年の東京オリ・パラ大会のメダルに、使用済み小型家電に含まれるリサイクル材が活用されることになり、裾野市もこのプロジェクトに参加しています。

#### 回収品目

**40cm×20cmの投入口に入る以下の使用済小型家電**



携帯電話



PHS



スマートフォン



パソコン



タブレット



左記の付属品  
(ACアダプタ・ケーブル・充電器・マウス・キーボード等)

※携帯電話・PHS・スマートフォンは専用の投入口に入れてください。  
※回収ボックスに入らないもの（デスクトップ型パソコンやモニターなど）は美化センター窓口で回収します。  
※付属品は購入時の標準添付品とします。

---

#### ご注意

- 個人情報を含むものは、あらかじめデータを削除してください。
- バッテリーは外してリサイクル協力店にお出しくください。  
(平成 27 年 4 月からは資源物「乾電池・充電器」の収集日にお出しできます)
- 一度回収ボックスに投入されたものは返却できません。
- 回収対象以外のものは回収ボックスに入れないでください。  
(フロッピーや USB メモリなどは資源物「その他の金属」の収集日にお出しください)



このマークは  
小型家電を回収  
している目安です。

裾野市

## 内陸フロンティアへの取り組み

### 静岡県の推進する『内陸フロンティア構想』に対する裾野市の取り組みについて

(H24.9 定例会)

- ◎ 平成 26 年 5 月 「ふじのくにフロンティア推進区域」（旧称「内陸フロンティア推進区域」）の指定。テーマは「東名裾野インターチェンジ周辺地域における防災・減災と職住近接に配慮した地域づくり推進区域」。



# 次期市議選(4期目)に向けて！

早いもので、この10月で市議会議員の任期満了を迎えます。この4年間で振り返れば、皆様に支えていただきながら、無我夢中で走り向けた毎日でした。いつも温かくご支援、ご指導いただいた皆様には、心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

私は、幼少期から地域の皆さんに支えられ裾野市で学び、裾野市に育てていただきました。そして母となり、この裾野市で子育てをしてきました。そのような中、裾野市が子育てに優しく、誰にでも暮らしやすいまち、住む人に愛されるまちになって欲しいと思うようになりました。そして、そのためには**自らが行動しなければ何も変わらない！**と思いました。

そして、政治経験も何もない私でしたが、**地域の皆さん、友人、同級生や多くの方々、そして家族の支えにより**、平成22年に初当選させていただくことができました。

はじめは議会の言葉やルールに戸惑いもありましたが、憲法から地方自治法、条例や規則、議会に関する事を必死に勉強しました。さらに、住民が主役の住民自治を重視し、現場主義を貫き、皆さんと一緒に行動し、共に考えたい、様々な事を学ばせていただきたい、その思いから、**積極的に市民活動にも参加**させていただきました。

また、私が議会でどのような質問や提案をしたか、年4回、この「わかば」を発行し、お伝えしてきました。「わかば」を手配りしながら、多くの皆様から励ましのお言葉をいただいた事はこの上ない喜びでした。さらに、年に数回開催してきた議会活動報告会にも、平日夜のお疲れの中にも関わらず、足を運んで下さった方々がいた事にも励まされてきました。

議会では、**議会だより編集委員長、厚生文教委員長、議会改革特別委員長、総務委員長**と重要な職務を経験させていただき、先輩方からも様々な事を学ばせていただきました。ただの主婦であった私に皆様方から温かいご指導をいただけた事に心より感謝を申し上げます。まだまだ未熟者ではありますが、裾野市、そして将来へ向けた安心、安全な生活のために、市政運営に携わっていきたいという思いを強く持っております。任期満了に伴う、**市議選挙が9月30日告示、10月7日投開票**と決定いたしました。熱い思いを持って、4期目に立候補する所存であります。



皆様方のお力添え、ご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。 **賀茂博美**